

平成21年度

# 福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2009















平成  
21年度

# 福岡市美術館活動の記録

Fukuoka Art Museum Annual Report 2009



|               |    |
|---------------|----|
| 凡例            | 04 |
| 美術館日誌         | 05 |
| 展示活動          |    |
| 特別企画展等        | 06 |
| 常設展           | 14 |
| 常設企画展         | 17 |
| 展覧会関連記事       | 18 |
| 教育普及活動        |    |
| こどもアートアドベンチャー | 21 |
| 夏休みこども美術館     | 22 |
| 講座            | 23 |
| 開館記念事業        | 24 |
| 福岡ミュージアムウィーク  | 24 |
| 博物館実習         | 25 |
| 職場体験学習        | 25 |
| 読書室企画         | 25 |
| ボランティア活動      | 26 |
| 出版物           | 29 |
| 調査研究活動        | 31 |
| 収集活動          |    |
| 美術資料          | 32 |
| 図書・映像資料       | 35 |
| 美術資料の修復・貸出    | 36 |
| 市民による施設の利用    |    |
| 展示室           | 41 |
| 講堂            | 47 |
| 教養講座室         | 47 |
| 実技講座室         | 49 |
| 版画印刷工房        | 51 |
| 入場者数一覧        |    |
| 展覧会観覧者数       | 52 |
| 読書室利用者数       | 53 |
| 名簿            | 54 |

- 1 本冊子は福岡市美術館の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの活動の記録である。ただし、展覧会の会期がその前後に渡るものも含む。また、期日を記した部分でH.21は平成21年の略字である。
- 2 「美術館日誌」は美術館主催の主要な事業を挙げた。
- 3 主催展覧会の観覧者数の明細は「入場者数一覧」に別途記載している。展覧会の詳しい内容については印刷物として図録を刊行しているので、参照のこと。
- 4 「収集活動」の「美術資料」購入分については平成21年度に本市が財団法人福岡市文化芸術振興財団より購入したものである。なお、データの寸法(法量)は、例えば平面作品の146.2×112.3は縦146.2、横112.3(イメージサイズ)で、立体作品の74.3×46.0×11.0は高さ74.3、幅46.0、奥行き11.0で、単位はセンチメートルである。また、所蔵品番号の番号記号の意味は下記の通りである。例えば1-A-452は郷土作家の油彩等の452番である。

|              |              |      |
|--------------|--------------|------|
| 1 郷土作家(注1)   | A 油彩等(注2)    | 作品番号 |
| 2 日本作家       | B 日本画等(注3)   |      |
| 3 海外作家       | C 水彩等(注4)    |      |
| 4 黒田資料       | D 素描         |      |
| 5 東光院仏教美術資料  | E 版画         |      |
| 6 松永コレクション   | F 写真         |      |
| 7 太田コレクション   | G 彫刻等(注5)    |      |
| 9 石村コレクション   | Ha~Hf 工芸(注6) |      |
| 11 森山コレクション  | I 書跡         |      |
| 12 三宅コレクション  | J 文書         |      |
| 13 山崎朝雲資料    | K その他        |      |
| 14 一般古美術資料   |              |      |
| 15 研究資料      |              |      |
| 16 西本コレクション  |              |      |
| 17 本多コレクション  |              |      |
| 18 クスマコレクション |              |      |
| 19 藤森静雄資料    |              |      |
| 20 森田コレクション  |              |      |
| 21 川村コレクション  |              |      |

- 注
1. 九州および山口県、沖縄県出身・在住作家。
2. A(油彩等)の分類には、大きさや形状から油彩画と同等と思われる作品も含む。すなわち、アクリル絵の具による絵画、複数の技法の併用による作品、レリーフ、コラージュ、布・紙・金属などの特殊な素材による作品も含む。立体の付属物があっても正面から鑑賞される壁面展示の作品、版面技法を用いていても1点制作である作品、素描であってもその大きさや表現が油彩画に匹敵すると思われる作品もまたAに分類した。
3. B(日本画等)の分類には、伝統的な素材・技法・形状による中国や朝鮮の絵画も含む。
4. C(水彩等)の分類には、パステルなどの多色を基調とする作品も含む。
5. G(彫刻等)の分類には、オブジェ、インスタレーションなどの立体作品も含む。
6. H(工芸)は素材別に枝番号を付した。陶磁器はHa、漆工はHb、金工はHc、染織はHd、刀剣はHe、その他はHfとした。

なお、作品名の[ ]は当館で作成した仮題である。

- 5 図版の\*は藤本健八氏撮影のものである。



## 平成21年

- 5月 1日(金) 特別展「未来をひらく福澤諭吉展」開会式
- 5月 2日(土) 特別展「未来をひらく福澤諭吉展」開催(6月14日まで)
- 5月17日(日) 第1回福岡ミュージアムウィーク開催(5月31日まで)
- 7月 1日(水) 夏期の開館時間延長開始(8月31日まで)
- 8月 8日(土) 開館30周年記念特別展「コレクション／コネクションー福岡市美術館の30年」展開催、同展開会式(9月27日まで)
- 8月12日(水) 超・夏休みこども美術館2009「美術館探検」(8月12日、15日、19日、22日、26日の5回)
- 9月25日(金) 平成21年度第1回美術館協議会
- 10月 3日(土) 常設展「仙厓展 九州大学文学部所蔵中山森彦コレクション」開会式
- 10月 9日(金) 開館30周年記念特別展「生誕130年記念 富田溪仙展」開会式
- 10月10日(土) 開館30周年記念特別展「生誕130年記念 富田溪仙展」開催(11月23日まで)
- 10月22日(木) 美術資料収集審査会(古美術)
- 11月 3日(火) 開館記念日につき常設展観覧料無料  
開館記念事業 図録フェア
- 11月16日(月) ボランティア総会
- 12月 1日(火) 新規ボランティアの募集(第七期生)開始(平成22年1月15日まで)
- 12月28日(月) 仕事納め

## 平成22年

- 1月 4日(月) 仕事始め
- 1月 5日(火) 特別展「トリノ・エジプト展」開催、同展開会式(3月7日まで)
- 1月29日(金) 美術資料収集審査会(近現代美術)
- 1月30日(土) 第11回所蔵品によるアートセミナー「黒田清輝を殴った男?! 一吉田博」(1月30日、2月6日の2回)
- 2月 3日(火) 常設企画展「中国陶磁の5000年ー森田コレクション」展開催(3月28日まで)
- 2月27日(土) 「第44回福岡市美術展」入賞・入選者発表
- 3月16日(火) 「第44回福岡市美術展」開催(3月28日まで)
- 3月20日(土) つくって!わかる?アート講座vol.4唐津焼「たたき形成」と絵付けでオリジナルの鉢を作ろう!(3月20日、27日の2回)
- 3月22日(月) 「第44回福岡市美術展」表彰式
- 3月26日(金) 平成21年度第2回美術館協議会



▲「第44回福岡市美術展」表彰式



特別企画展等

未来をひらく 福澤諭吉展

会期：平成21年5月2日(土)―6月14日(日)

会場：特別展示室A



▲ポスターB2



▲会場風景

内 容

日本を代表する啓蒙思想家であり、教育者である福澤諭吉(1835-1901)は、幕末～明治の激動の時代にあって思想・文化面で革新的な活動を展開し、日本の近代化に大きな足跡を残した。本展では福澤が創立した慶應義塾の創立150年を記念して、福澤の遺品、遺墨、書簡や慶應義塾関連資料に加え、福澤門下生が収集した美術コレクションを紹介し、その多方面にわたる活動の把握を試みた。特に福岡展では、地元ゆかりの資料を加えて、九州と福澤の紐帯を示した。

出品点数 386点

関連事業

▶ オープン記念講演会「展覧会のみどころ」

第一部「股引きすがたの福澤諭吉―現実主義者の反骨―」

日 時：平成21年5月2日(土) 午後1時30分～2時30分  
講 師：小室正紀氏(慶應義塾大学経済学部教授、同大学院経済学研究科委員長、慶應義塾福澤研究センター前所長)  
聴講者数：200人

第二部「福澤門下の美術コレクション」

日 時：平成21年5月2日(土) 午後2時45分～3時45分  
講 師：西岡康宏氏(東京国立博物館元副館長)  
聴講者数：200人

主催等

主 催：未来をひらく福澤諭吉展実行委員会  
共 催：テレビ西日本／TVQ九州放送／大分合同新聞社／TOSテレビ大分  
後 援：文化庁／九州・沖縄各県／同県教育委員会／福岡・中津各市／同市教育委員会／福岡県私学協会／(財)福澤旧邸保存会／(財)福岡文化財団／(財)福岡市文化芸術振興財団／(社)日本自動車連盟福岡支部／西日本リビング新聞社／RKB毎日放送／FBS福岡放送／FM FUKUOKA／cross fm／LOVE FM／天神エフエム／西日本文化サークル連合／西日本新聞天神文化サークル  
協 賛：鹿島建設／損害保険ジャパン／大王製紙／大日本印刷／大和証券グループ／トヨタ自動車／久光製薬／九州電力／西日本シティ銀行／西日本鉄道／西部ガス／九電工／九州旅客鉄道／福岡地所／九州リースサービス／麻生専門学校グループ／大宰府天満宮／理研農産化工／九州勤業／ゼンリン／総合メディカル／薩摩酒造／山口銀行／西部電気工業／ヤマエ久野  
協 力：日本通運  
特別協力：福岡三田会／九州・沖縄連合三田会／北九州三田会／山口県連合三田会／韓国三田会／ソウル三田会

## ▶ 記念講演会

## 「孤高なる芸術と独立自尊の精神」

日 時：平成21年5月9日(土) 午後1時30分～3時

講 師：千住真理子氏(ヴァイオリニスト)

聴講者数：246人

## 「福澤諭吉の見ていたもの」

日 時：平成21年5月10日(日) 午後1時30分～3時

講 師：林 望氏(作家・書誌学者)

聴講者数：153人

## 「私にとっての慶應」

日 時：平成21年5月13日(水) 午後2時30分～4時

講 師：石坂浩二氏(俳優)

聴講者数：246人

## 「グローバル社会の新展開と日本の行方」

日 時：平成21年6月5日(金) 午後1時30分～3時

講 師：竹中平蔵氏(慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科教授、  
同大学グローバルセキュリティ研究所所長)

聴講者数：246人

## 「日本近代化の中の九州と慶應義塾」

日 時：平成21年6月7日(日) 午後1時30分～2時40分

講 師：小川原正道氏(慶應義塾大学法学部准教授)

聴講者数：100人

## 観覧料

一般・・・1,200円(1,000円)  
大学生・・・1,000円(800円)  
高校生・・・800円(600円)  
中学生以下・・・無料※( )内は前売り料金  
団体(20名以上)は、一般900円、  
大学生700円、高校生500円。  
シルバー手帳提示者は前売り料  
金。身体障害者手帳、精神障害者  
保健福祉手帳、療育手帳提示者  
とその介護者1名は無料。

開催日数 38日

観覧者数 20,862人

## 印刷物

ポスター(B1、B2、B3)  
チラシ2種(A4、A3変形三つ折り)  
ガイド『学問のすすめノート』(B5・17頁)  
出品目録(A4・8頁)  
図録(A4変形・168頁)

## 関連記事

p.18を参照。



▲図録



福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念

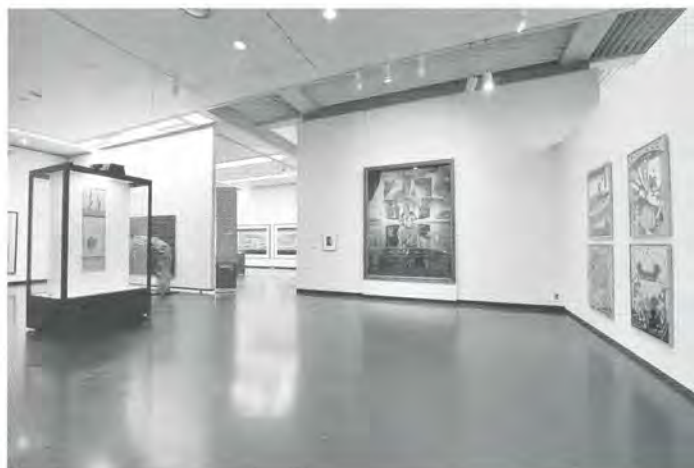
## コレクション／コネクション—福岡市美術館の30年

会期：平成21年8月8日(土)―9月27日(日)

会場：特別展示室A、常設展示室、ロビー



▲ポスターB2



▲会場風景

### 内容

福岡市美術館は本年開館30周年を迎えた。1974年より開始された収集活動の継続により、その収蔵作品は古美術・近現代美術併せて1万4千点を超えた。本展は、これら所蔵作品の代表的なもの400点あまりを、市民ギャラリー以外のすべての展示室を使って展示。このような大規模な所蔵品展は、開館以来初めてのこと。古美術、近現代美術の特徴を活かした展示に加え、時代やジャンルの枠を取り払ったテーマ別の展示も導入し、当館所蔵作品の多様性を演出し、来場者にもわかりやすく展示した。併せて、2階ロビーにおいて、中西信洋「Layer Movies」を開催。そして「美術館をひろげる・ふかめる」と題した様々な関連事業を展開。福岡市美術館をベースに、所蔵品と来場者のつながりをふかめ、ひろげる試みを行った。

出品点数 451点

### 関連事業

#### ▶美術館をひろげる・ふかめる

(中西信洋: Layer Movies、トークセッション以外は平成21年度文化庁美術館・博物館活動基盤整備支援事業)

#### A.美術館をひろげる

##### 1. 中西信洋: Layer Movies

会 期：平成21年8月8日(土)  
～9月27日(日)  
会 場：2階ロビー



▲中西信洋「Layer movie / Fukuoka line」

### 主催等

主 催：福岡市美術館／西日本新聞社／テレビ西日本  
主 助 成：野村国際文化財団、(財)福岡文化財団  
後 援：(財)福岡市文化芸術振興財団

### 観覧料

一般・・・500円(300円)  
高・大生・・・300円(200円)  
シルバー手帳提示者・・・300円

※( )内は20名以上の団体料金。  
中学生以下の生徒・児童、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者とその介護者1名は無料。

開催日数 44日

観覧者数 12,486人

### 印刷物

ポスター(B2)

チラシ4種

本展：A3二つ折り

美術館をひろげる・ふかめる：A4、A4二つ折り

Collection/Connection/Collaboration：A4

館内ガイド(A3四つ折り)

出品目録(A3二つ折り・8頁)

中西信洋：Layer Moviesリーフレット(B4変形二つ折り)

美術館をひろげる・ふかめる報告書(B5・47頁)

### 関連記事

p.18を参照。



美術館をひろげる・ふかめる報告書▲

## 2.Meet The Artists(アーティストと出会う)

### ・折元立身パフォーマンス

#### 「Finger Dolls(指人形)」

会 期：平成21年8月8日(土) 午後2時～2時30分

会 場：1階ロビー

#### 「パン人間」

日 時：平成21年8月22日(土) 午後3時～5時

行進ルート：福岡市役所(集合場所・始点)～西鉄福岡駅コンコース～きらめき通り～大名1丁目～中央区役所前～地下鉄赤坂駅(地下鉄乗車)～大濠公園駅～大濠公園～福岡市美術館(終点・解散)

参 加 者：九州産業大学生19名

協 力：九州産業大学芸術学部

### ・さとうりさ

#### 「Risa Campaign vol.11 [working, now]」

期 日：平成21年9月19日(土)

展 示：午前9時30分～正午 福岡市美術館1階ロビー

スケジュール 午後1時～3時 福岡アジア美術館 7階ラウンジ

午後4時～6時 福岡県立美術館 玄関付近

協 力：福岡県立美術館、福岡アジア美術館



▲折元立身「Finger Dolls」



▲さとうりさ「Risa Campaign vol.11 [working, now]」

## 3.灯明ウォッチング in 福岡市美術館

日 時：平成21年9月13日(日) 午後6時～9時

協 力：学校と社会をつなぐエージェンシー (ASAP)

監 修：藤 浩志

コーディネーター：おがたたかひろ

### ・灯明制作ワークショップ

#### 福岡市美術館

日 時：平成21年9月5日(土)～12日(土) 午後1時～4時

会 場：1階ロビー

#### 草ヶ江公民会

日 時：平成21年9月5日(土) 午前10時～正午

会 場：草ヶ江公民館



▲灯明ウォッチング

## B.美術館をふかめる

### 1.ジュニアキュレーター見参!

#### ・企画・準備

期 間：平成21年6月20日(土)～8月7日(金)

場 所：講堂・教養講座室・実技講座室・常設展示室

参 加 者：市内の中学校10校より、全115名および教員13名

#### ・展示

会 期：平成21年8月8日(土)～9月27日(日)

会 場：企画展示室

#### ・ギャラリートーク

日 時：平成21年8月8日(土)(練習)、8月9日(土)、22日(土)、23日(日)、  
9月5日(土)、6日(日)、12日(土)、13日(日)、26日(土)

いずれも午後1時～3時30分

参加者数：250人



▲ジュニアキュレーター見参!



## 2.キッズコーナー 森のたね

期 間：平成21年8月8日(土)～9月27日(日)

場 所：特別展示室B(手前)

会場構成：オーギカナエ(美術家)

協 力：九州大学産学連携センターデザイン総合部門

### ・ワークショップ「オーギカナエとふわふわペットをつくろう」

日 時：平成21年9月12日(土)、21日(月・祝) いずれも午後1時～4時の随時

会 場：キッズコーナー 森のたね

参加者数：9月12日 29人、9月21日 45人

## 3.ガイドボランティアによるギャラリートツアー

日 時：平成21年8月8日(土)～9月27日(日) 8月は午前11時から

9月は午前11時、午後2時からいずれも40分程度

会 場：特別展示室A、常設展示室

参加者数：88人

## ▶コレクション／コネクション トークセッション

### Part1 コレクション(講演会)

#### 「福岡市美術館のコレクションの成り立ち」

日 時：平成21年9月13日(日) 午後2時～3時40分

会 場：講堂

講 演 者：安永幸一氏(福岡アジア美術館顧問)

田坂大蔵氏(福岡市博物館顧問)

聞 き 手：渡邊雄二(福岡市美術館学芸課長)

聴講者数：85人

### Part2 コネクション(シンポジウム)

#### 「美術館の『いま』そして『未来』」

日 時：平成21年9月27日(日) 午後3時～5時15分

会 場：講堂

パネリスト：桜井 武氏(熊本市現代美術館館長)

西本匡伸氏(福岡県教育庁社会教育課企画主幹)

福満葉子氏(長崎県文化振興課係長・学芸員)

司 会：山口洋三(福岡市美術館学芸員)

聴講者数：50人



▲キッズコーナー 森のたね



▲ワークショップ「オーギカナエとふわふわペットをつくろう」

## 共催事業

### ▶「Collection/Connection/Collaboration」

主 催：(財)福岡市文化芸術振興財団

#### ・野村 誠 音楽ワークショップ「コレコネ組曲」

日 時：平成21年8月18日(火)～20日(木)

午後3時30分～6時30分

会 場：「コレクション／コネクション」展会場、実技講座室

参加者数：30人

#### ・松岡涼子 舞踏パフォーマンス「時を渡る」

日 時：平成21年8月30日(日)

午後4時～4時30分

会 場：2階ロビー、インスタレーション展示部分

#### ・selbst パフォーマンス「集積ーダンスとモノたちと・・・」

日 時：平成21年9月22日(火・祝)

午後2時～2時30分

会 場：エスプラナード

#### ・岩下 徹 即興ダンス「みみをすます」

日 時：平成21年9月22日(火・祝)

午後4時～4時30分

会 場：2階ロビー

### ▶福岡市美術館30周年記念提携公演

#### ギンギラ太陽's「翼をくださいっ! 幻の翼・震電」

主 催：ギンギラ太陽's

共 催：(財)福岡市文化芸術振興財団

日 時：平成21年8月11日(火)～16日(日)

会 場：講堂

福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念  
生誕130年記念 富田溪仙展

会期：平成21年10月10日(土)～11月23日(月・祝)  
会場：特別展示室A

展示活動

特別企画展等



▲ポスターB2



▲会場風景

内容

博多出身の日本画家・富田溪仙(1879-1936)の生誕130年を記念する回顧展。京都で都路華香(つじかこう)に師事した模索時代から、横山大観に評価され再興院展を舞台に自由奔放な作風を確立した時代を経て、诗情あふれる晩年の花鳥画に至る画業を代表作119点でたどった。初期の大作《若菜摘み》(京都国立近代美術館蔵)やフランスの詩人ポール・クローデルの依頼によりフランスへ寄贈された《神庫》(ポンピドゥー・センター蔵)などこれまでの溪仙展では紹介されなかった作品を含め、奇才の全貌に迫った。

出品点数 119点

関連事業

▶記念講演会

「富田溪仙一人と作品」

日時：平成21年10月24日(土)  
午後2時～5時

講師：古川智次氏  
(福岡大学教授)

会場：講堂

聴講者数：70人

「博多のこころと溪仙」

日時：平成21年11月7日(土)  
午後2時～4時

講師：福間裕爾氏  
(福岡市博物館学芸員)

会場：講堂

聴講者数：55人

▶トーク&鑑賞会

「あなたと探す溪仙の魅力」

日時：平成21年10月31日(土) 午後1時30分～2時30分  
平成21年11月11日(水) 午後1時30分～2時30分

講師：山本香瑞子(福岡市美術館学芸員)

会場：教養講座室

聴講者数：10月31日=22人、11月11日=16人

主催等

主催：福岡市美術館／西日本新聞社／TVQ九州放送  
協力：エールフランス航空  
助成：(財)地域創造／(財)福岡文化財団  
後援：(財)福岡市文化芸術振興財団／九州旅客鉄道

観覧料

一般・・・1,300円(1,100円)  
高・大生・・・800円(600円)  
小・中生・・・500円(300円)

※( )内は前売りおよび20名以上の団体、シルバー手帳提示者料金。身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者とその介護者1名は無料。

開催日数 39日

観覧者数 12,046人

印刷物

ポスター(B1、B2、B3)  
チラシ(A4)  
出品目録(A4・4頁)  
図録(A4変形・234頁)

関連記事

p.19を参照。



▲図録



# トリノ・エジプト展

—イタリアが愛した美の遺産—

会期：平成22年1月5日(火)―3月7日(日)

会場：特別展示室A



▲ポスターB2



▲会場風景

## 内容

イタリアのトリノ・エジプト博物館は、エジプト国外では数少ない古代エジプトを専門とする博物館である。そしてその所蔵品は大英博物館やルーヴル美術館に比肩する世界屈指の質と量を誇っている。コレクション日本初公開となった本展では、世界的にも希少なツタンカーメン像や優美な姿を留めた石像などの大型彫像を、鏡と照明を用いたドラマチックな演出のなか展示し、そのほか鮮やかな彩色木棺、ミイラ、パピルスなども紹介した。

出品点数 約120点

## 関連事業

### ▶ 記念講演会

「エジプト美術の魅力」

日時：平成22年1月17日(日) 午後2時より  
講師：近藤二郎氏(早稲田大学文学学術院教授)  
会場：講堂

### ▶ ワークショップ

「ヒエログリフを書いてみよう!」

日時：平成22年1月31日(日) 午後2時より  
講師：村治笙子氏(古代オリエント博物館講師)  
会場：教養講座室  
参加者数：30人

## 主催等

主催：福岡市美術館／朝日新聞社／東映／テレビ西日本／フジテレビジョン  
後援：外務省／文化庁／イタリア大使館／福岡県／福岡県教育委員会／(財)福岡市文化芸術振興財団／(財)福岡文化財団／福岡県PTA連合会／福岡市PTA協議会／福岡県子ども会育成連合会／福岡県教職員互助会／九州旅客鉄道／西日本鉄道／(社)日本自動車連盟福岡支部／cross fm／FM福岡／天神エフエム／LOVE FM  
協賛：大塚製薬／大日本印刷  
協力：ニッセイ同和損害保険／日本通運／日本貨物航空／西鉄グランドホテル／ソラリア西鉄ホテル  
出品協力：トリノ・古代エジプト博物館財団  
監修：近藤二郎氏(早稲田大学文学学術院教授)

## 観覧料

一般・・・1,300円(1,100円) ※( )内は前売り、20名以上の団体、シルバー手帳、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳提示者の料金。  
高・大生・・・1,000円(800円)  
小・中生・・・600円(400円)

開催日数 54日

観覧者数 70,672人

## 印刷物

ポスター(B2、B3)  
チラシ(A4)  
図録(A4変形・210頁)

## 関連記事

p.19を参照。



▲図録

# 第44回福岡市美術展

会期：平成22年3月16日(火)―3月28日(日)  
 前期：日本画・書・写真・デザイン 3月16日(火)―3月22日(月・祝)  
 後期：洋画・彫刻・工芸 3月24日(水)―3月28日(日)  
 会場：特別展示室A・B、市民ギャラリーA・B・C・D



▲ポスターB2



▲ギャラリートーク

## 内容

美術の各分野における市民の創造活動を促進し、その成果の発表と鑑賞の機会を提供することにより、市民の美術活動の振興を図ることを目的に毎年開催している公募展。今回は、洋画等7部門で、1,247人(1,448点)の応募があり、内710人(717点)が入選。このうち、市長賞など入賞作品は69点であった。

展示点数 753点

## 関連事業

### ▶入賞・入選者発表

期 日：平成22年2月27日(土)

場 所：1階ロビー

### ▶表彰式

期 日：平成22年3月22日(月・祝)

会 場：講堂

各 賞：福岡市美術展特別賞1点、福岡市長賞7点、福岡市議会議長賞2点、福岡市教育委員会賞・福岡県美術協会賞・福岡市美術連盟賞・福岡文化連盟賞・福岡市文化芸術振興財団賞各1点、西日本新聞社賞3点、福岡県美術協会奨励賞2点、福岡市美術連盟奨励賞2点、奨励賞47点

### ▶ギャラリートーク

前 期：平成22年3月22日(月・祝) 午後3時より

後 期：平成22年3月28日(日) 午後3時より

## 主催等

主 催：福岡市／福岡市教育委員会／福岡市美術展運営委員会  
 後 援：福岡県／(社)福岡県美術協会／福岡文化連盟／(財)福岡市文化芸術振興財団／西日本新聞社／福岡市美術連盟

## 観覧料

一般・・・300円 高・大生・・・200円 小・中生・・・無料

※障がい者手帳所持者は無料

開催日数 12日

観覧者数 6,341人

## 印刷物

ポスター(B2 2種)  
 開催要項(A3二つ折り)  
 図録(A4変形・48頁)

## 関連記事

p.20を参照。



▲図録

## 出品・入賞・入選状況

| 部門   | 出品合計(応募)    |       | 展示                   |     |             |             |
|------|-------------|-------|----------------------|-----|-------------|-------------|
|      | 人員(人)・点数(点) |       | 入賞・入選<br>人員(人)・点数(点) |     | 招待<br>人員(人) | 展示<br>点数(点) |
| 日本画  | 39          | 43    | 32                   | 33  | 3           | 36          |
| 洋画   | 303         | 370   | 211                  | 211 | 5           | 216         |
| 彫刻   | 20          | 23    | 20                   | 21  | 5           | 26          |
| 工芸   | 128         | 156   | 57                   | 59  | 5           | 64          |
| 書    | 272         | 280   | 151                  | 151 | 7           | 158         |
| 写真   | 343         | 431   | 180                  | 180 | 6           | 186         |
| デザイン | 142         | 145   | 59                   | 62  | 5           | 67          |
| 合計   | 1,247       | 1,448 | 710                  | 717 | 36          | 753         |

※招待点数は審査員出品を含む。



## 常設展

### ■近現代美術

#### 近現代美術室

#### 世界・日本・九州の美術：20世紀から21世紀へ 会期：平成21年10月3日(土)―平成22年5月9日(日)

日本近代の洋画、シュルレアリスム、ポップアートなど、主に20世紀に登場したさまざまな美術動向を代表する国内外の作品約60点を、時代別、傾向別にわかりやすく展示。

1. ラファエル・コランと近代日本の洋画  
ラファエル・コラン、黒田清輝、岡田三郎助、吉田博など
2. 20世紀前半の新たな展開  
モーリス・ユトリロ、ジョルジュ・ルオー、児島善三郎、佐伯祐三、レオナール・フジタ、古賀春江、三岸好太郎、坂田一男など
3. 20世紀後半、不安と絶望からの出発  
ジョアン・ミロ、マルク・シャガール、ポール・デルヴォー、海老原喜之助など
4. 「かたち」無きものをとらえる  
ニコラ・ド・スタール、ジャン・フォートリエ、ジャン・デュビュッフ、マーク・ロスコ、辰野登恵子など
5. 「かたち」の彼方をとらえる  
サルヴァドール・ダリ、ジャック・モノリー、藤野一友、小牧源太郎など
6. 日常生活とアート  
アンディ・ウォーホル、シグマール・ボルケ、ジャン・ティンゲリー、草間彌生など

#### 日本画工芸室

#### 日本の四季

平成21年3月31日(火)―5月31日(日)

制作技法は違っても、日本の四季は作品の主要な画題として取り上げられつづけている。春夏秋冬をテーマとした作品を、様々な作品ジャンルから紹介。洋画、日本画をとりまぜて14点を展示。

安井曾太郎《初春》1919年▶



#### ホームグラウンド：九州を拠点とした美術家

平成21年6月2日(火)―7月31日(金)

当館の収集方針の1つに、近代以後の九州出身・関係者の作品を収集することが挙げられている。この方針に基づき収集された近現代作品は3400点を超えている。本展では九州の地を自らのホームグラウンドと定め、中央の動向と距離を置きながら、独自の画風を切り開いた、主に戦後活躍した画家たちの油彩、日本画、水彩、彫刻59点を展示。

#### 富田溪仙展関連企画 もうひとつの溪仙展―素描を中心に― 平成21年10月3日(火)―11月29日(日)

「生誕130年記念 富田溪仙展」の開催にちなみ、当館の所蔵品から溪仙の素描作品を中心とする26点を展示。特別展に出品される大作とはひと味異なる、もう一つの溪仙の魅力を紹介した。

#### キモノ美人

平成21年12月1日(火)―平成22年1月31日(日)

現代生活では身につける機会がすっかり減った「キモノ」だが、それを身にまとう時、身にまとった人を目にする時、何とも言えない華やきを感じる。本展では、あでやかな「キモノ」の人々を描いた作品16点を、所蔵品の中から展示した。



▲吉村忠夫《播磨の娘子》制作年不詳

#### 舟山一男と藤崎孝敏(西本コレクション)

平成22年2月2日(火)―3月28日(日)

道化師や女性の姿を静かに叙情的に描く舟山一男(1952-)と、激しい筆致と明暗によってモデルの内面をえぐり取るように表す藤崎孝敏(1955-)。それぞれの表現で人間の本质に迫ろうとする二人の画家の作品を、西本コレクションから17点紹介した。

#### 小作品室

#### 新収蔵作品展

平成21年3月31日(火)―5月31日(日)

平成20年度に福岡市美術館へご寄贈頂いた近現代美術作品の中から地元九州の作家や現代美術家による絵画・彫刻27点を小作品室に展示した。また、今回第6次目となった西本コレクションからは木下晋の鉛筆画やケーテ・コルヴィッツの版画など33点を企画展示室に展示した。

ケーテ・コルヴィッツ《民衆(連作「戦争」第7葉)》1922年▶



#### ホームグラウンド：九州を拠点とした美術家

平成21年6月2日(火)―7月31日(金)

日本画工芸室を参照。

#### 長谷川潔と駒井哲郎

平成21年10月3日(火)―11月29日(日)

日本を代表する二人の版画家、長谷川潔(1891-1980)と駒井哲郎(1920-1976)は、第二次世界大戦の後のパリでひと時の親交を結んだ。異国の縁で結ばれた二人の美術家が織りなす、静謐で深遠な銅版画の世界を、所蔵品30点により紹介した。

#### クリストの版画

平成21年12月1日(火)―平成22年1月31日(日)

布を使って建築物や環境そのものを変貌させることで知られるクリスト(1935-)とジャンヌ・クロード(1935-2009)。二人のアート・プロジェクトにおいては、構想から実現に至るまでにドローイングや版画など様々な作品が生み出されてきた。本展では当館が所蔵するクリストの版画21点を紹介した。

#### シリーズ美術の技法Ⅱ 水彩

平成22年2月2日(火)―3月28日(日)

最も親しみ深い絵画技法の一つといえる水彩に注目し、明治の水彩画から現代の作品まで、その多様な表現の魅力を探った。吉田博、ヴォルス、瑛九など21点を展示。

#### 企画展示室

#### 新収蔵作品展

平成21年3月31日(火)―5月31日(日)

小作品室を参照。

#### ホームグラウンド：九州を拠点とした美術家

平成21年6月2日(火)―7月31日(金)

日本画工芸室を参照。

## 古川吉重の軌跡—米国に挑んだ抽象画家

平成21年10月3日(火)—11月29日(日)

平成20年に急逝した福岡市出身の画家、古川吉重(1921-2008)。若き日に渡米し、ニューヨークに拠点を置き、様々な困難を乗り越えて独特の抽象的画風を切り開いた。油彩、版画、ドローイングなど、画法も多岐にわたった。油彩、素描、版画15点で構成。

## Around 30 —美術家たちの30歳—

平成21年12月1日(火)—平成22年1月31日(日)

2009年に福岡市美術館が開館30周年を迎えたことにちなみ、様々な世代の美術家たちが30歳前後で制作した作品を特集した。作家としてのスタイルを確立したり、転機を迎えたり、それぞれの歴史がかいま見える、美術家たちの「アラサー」に迫る11点を展示。



▲古賀春江《生誕》1924年 \*

## クロード・ワイズバッシュ展(西本コレクション)

平成22年2月2日(火)—3月28日(日)

和歌山市在住の西本宏氏による寄贈コレクションから、フランス北東部ティオンビル出身の画家、クロード・ワイズバッシュ(1927-)の作品を取り上げた。確かなデッサン力に裏打ちされた躍動感溢れるフォルムで、演奏家やダンサー、舞台上の人物などを描くワイズバッシュの作品から、油彩画8点、版画1点の計9点を選びすぐて展示した。

## ■古美術

### 古美術企画展示室

## 新収蔵作品展

平成21年3月31日(火)—5月31日(日)

ガンダーラ様式(2~4世紀)の仏像を含むインド、パキスタンの彫刻、タイで7~18世紀に制作された埴仏、宋~明時代・朝鮮王朝時代の青磁や古伊万里の磁器など、平成20年度に福岡市美術館へ寄贈された古美術作品84点を公開。

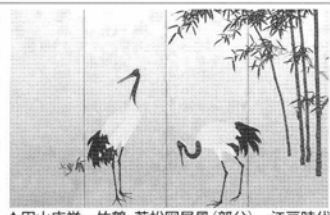


石造菩薩像頭部 パキスタン 2-3世紀▶

## 屏風絵の世界

平成21年6月2日(火)—7月31日(金)

当館所蔵品より、狩野派や雲谷派の水墨画、金地のあでやかなやまと絵、琳派の絵画、四条派の写生画などさまざまな作者によって描かれた、日本絵画のゆたかな表現が見られる代表的な屏風絵10点を紹介。



▲円山応挙 竹鶴・若松図屏風(部分) 江戸時代

九州大学文学部85周年/文学部60周年記念事業・福岡市美術館30周年記念事業

## 仙厓展 九州大学文学部所蔵中山森彦コレクション

平成21年10月3日(土)—11月29日(日)

九州大学文学部が所蔵する中山森彦博士が収集した仙厓作品30点を紹介。中山博士は京都大学出身で九州大学医学部の創設に関わり、公務のかたわら仙厓の書画を研究し、作品を収集した。大学外での数少ない公開となった。

主催：九州大学文学部/福岡市美術館

・関連事業

講演会「仙厓と中山森彦博士」

日時：平成21年10月10日(土) 午後2時~4時

講師：中山喜一郎氏(福岡市博物館学芸員)

後小路雅弘氏(九州大学大学院教授)

会場：講堂

聴講者数：102人

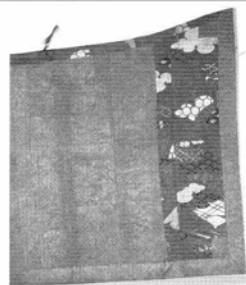
・印刷物：案内はがき(長形)

リーフレット(A4・15頁)

## 染織名品展

平成21年12月1日(火)—平成22年1月31日(日)

当館所蔵の国内外の染織の名品をえりすぐって紹介した。海外からコブト裂、インド更紗、カンボジアの更紗や紋織、国内からは黒田家伝来の陣羽織や帷子、松永コレクションの辻が花、沖縄の紅型や絣など、25点を展示。



辻が花染九條袷 桃山時代▶

\*

## 田中丸コレクション(コーナー展示)

平成21年12月1日(火)—平成22年1月31日(日)

福岡市美術館に寄託されている田中丸コレクションは、唐津、高取、上野、八代、薩摩、現川など、九州の主要な窯を網羅した近世陶器で構成される。その中から、茶碗、茶入、水指、向付といった茶道具の優品を常時15~20点選んで展示した。

### 松永記念館室

## 春の名品展

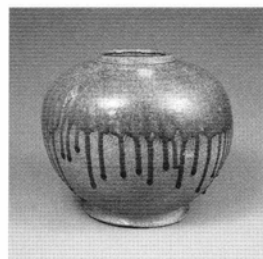
平成21年3月31日(火)—5月31日(日)

水墨画や染付といったモノトーン(単色)の作品は、色彩は少ないながら表現された世界はさまざまで、豊かなイメージを作り出す。日本、中国、韓国の書、絵画、工芸品を15点紹介。

## 壺の美

平成21年6月2日(火)—7月31日(金)

食糧や飲料を貯蔵・運搬するための容器である壺は、実用品としての機能を超え、形や装飾文様を愛で楽しむ対象として、今や多くの陶磁器愛好家の心を捉えてやまない器種のひとつである。本展では、松永コレクションを中心に古今東西の壺の優品16点を紹介した。



猿投灰釉壺 平安時代 重要文化財▲



## 秋の名品展

平成21年10月3日(土)―11月29日(日)

松永コレクションは、茶道具を核としながら、古今東西の優れた美術・工芸品を多様に含んでいることに特徴がある。本展は、絵画、彫刻、漆工、金工など、各ジャンルから選んだ代表的な作品17点により、松永コレクションのもつ多彩な魅力を紹介した。

## 書と語る

平成21年12月1日(火)―平成22年1月31日(日)

大燈国師、沢庵宗彭、北条泰時、千利休など鎌倉時代から江戸時代までの禅僧の墨跡や武士や茶人の手紙、詩歌などの書16点を展示。墨と筆によって表された書き手の個性を見出すほか、手紙や詩歌の内容を読み取ることによる書の魅力を紹介。



妙絶大師道潜墨蹟(与淑通教授尺牘)▲  
北宋時代

## 東光院仏教美術室

薬王密寺東光院(博多区吉塚)より寄贈された重要文化財25点を含む仏像を常時展示。薬師如来立像、十二神将立像(平安時代後期・南北朝時代)など。

## 東光院の仏画―涅槃図ほか(コーナー展示)

平成22年1月6日(水)―2月14日(日)

涅槃会(ねはんえ)の時節にちなみ、仏涅槃図をはじめとする東光院伝来の仏画を、コーナー展示にて5点展示。

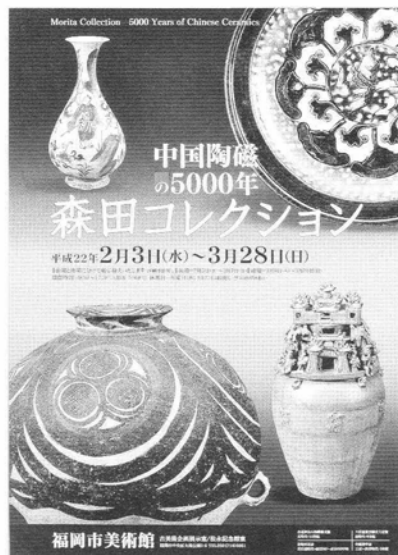
観覧料：一般200円(150円)、高・大生150円(100円)、中学生以下無料。福岡市発行のシルバー手帳および北九州市発行の年長者施設利用証・療育手帳・身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者は無料。また、鹿児島市民および熊本市民の65歳以上の方で、年齢・住所を確認できる公的機関発行の証明書提示者は無料。( )内は20名以上の団体料金。

観覧者数：p.52を参照。

関連記事：p.20を参照。

# 中国陶磁の5000年 森田コレクション

会期：平成22年2月3日（水）—3月28日（日）  
前期：2月3日（水）—3月7日（日）  
後期：3月9日（火）—3月28日（日）  
会場：古美術企画展示室、松永記念館室



▲ポスター-B2



▲会場風景

## 内容

久留米市出身の会社経営者・森田暁（もりたさとる）氏より平成20年3月に寄贈された「森田コレクション」は、中国歴代王朝の時代を広く網羅した陶磁器を中心に、インダス川流域の土器類、中央アジアの金工・石製品など多様なジャンルを含む計263件（336点）のコレクションである。本展は、この大規模な寄贈を顕彰し、市民の方々に初公開する展覧会で、古美術企画展示室・松永記念館室の両室を使い、展示替えをしながら全作品を出品した。

出品点数 263件 336点

## 関連事業

### ▶ 学芸員によるギャラリートーク

日時：平成22年2月27日（土）、3月13日（土） 午後2時より  
講師：後藤 恒（福岡市美術館学芸員）  
会場：古美術企画展示室、松永記念館室

## 主催

福岡市美術館

## 観覧料

常設展示観覧料（p.16参照）

開催日数 47日

## 観覧者数

常設展示室入場者数（p.52参照）

## 印刷物

ポスター（B2）  
チラシ（A4）

## 関連記事

p.20を参照。



▲図録



## 展覧会関連記事

### ■特別企画展等

#### 未来をひらく 福澤諭吉展

|                |          |                                                                                                                                              |
|----------------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 日本経済新聞(夕刊)     | H21.3.19 | 諭吉夫妻の肖像写真／福岡で5月2日から福澤諭吉展／「中津留別之書」など紹介                                                                                                        |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.4.16 | 本社の事業／「未来をひらく 福澤諭吉展」／幕末から明治を生き抜いた思想家の足跡をたどる／来月2日から福岡市美術館で                                                                                    |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.4.22 | 「福澤諭吉の精神」を語る／福岡市美術館 千住さん、竹中氏ら講演／来月からの展覧会に合わせ                                                                                                 |
| 西日本新聞(夕刊)      | H21.4.23 | ここ行こう／イベント／日本の近代化に大きな足跡を残した／「未来をひらく 福澤諭吉展」／来月2日ー6月14日、福岡市美術館／遺品、著書など思想と活動紹介                                                                  |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.4.26 | 九州発の「独立自尊」／思想家の歩みたどる／未来をひらく 福澤諭吉展／来月2日ー6月14日、福岡市美術館／慶応義塾塾長 安西祐一郎氏に聞く 日本を近代に導いた一大原動力／慶応大アート・センター前所長 前田富士男・名誉教授 批判精神 多角的に紹介／慶応ボーイ・石坂浩二さんが音声ガイド |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.4.28 | 「福澤諭吉展」の逸品ー1／愛用の股引／胸張ってー市民貴く／(慶応義塾福澤研究センター専任講師、都倉武之)                                                                                         |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.4.29 | 「福澤諭吉展」の逸品ー2／朝鮮留學生／「脱亜論」者の行動は／(慶応義塾福澤研究センター専任講師、都倉武之)                                                                                        |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.1  | 「福澤諭吉展」の逸品ー3／西南戦争／西郷の「抵抗」を擁護／(慶応義塾福澤研究センター専任講師、都倉武之)                                                                                         |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.2  | 「福澤諭吉展」の逸品ー4／活版印刷／出版を通じて近代化／(福岡市美術館学芸員、岩永悦子)                                                                                                 |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.2  | きょうから福澤諭吉展／福岡市美術館                                                                                                                            |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.3  | 諭吉展 初日から盛況／来場者「遺品見て本人身近に」／福岡市美術館                                                                                                             |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.5  | 「福澤諭吉展」の逸品ー5／師の薫陶／美術品を私物にせず／(福岡市美術館学芸員、岩永悦子)                                                                                                 |
| 読売新聞(朝刊)       | H21.5.8  | 諭吉の遺品など300点／福岡市美術館                                                                                                                           |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.9  | 「独立自尊」自ら実践／身分制度「親の敵」 家族に「さん」づけ 不遇の人々と交流／慶応義塾福澤研究センター 都倉武之専任講師 人物像に迫る／来月14日まで福澤諭吉展 福岡市美術館                                                     |
| 読売新聞(夕刊)       | H21.5.19 | 考2009／言論の付和雷同 批判／福沢の気概「丁丑公論」                                                                                                                 |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.20 | 諭吉展の見どころ紹介／本紙文化サークル 福岡市で24日講座                                                                                                                |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.22 | 春秋                                                                                                                                           |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.27 | 高い理想 人間味あふれ／「未来をひらく 福澤諭吉展」／福岡市美術館 来月14日まで                                                                                                    |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.28 | 福澤諭吉展を見て《上》／「独立自尊」に強い影響／バイオリニスト 千住真理子さん                                                                                                      |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.29 | 福澤諭吉展を見て《中》／見渡せる多才な面／作家・書誌学者 林 望さん                                                                                                           |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.5.30 | 福澤諭吉展を見て《下》／人間像をとらえる／俳優 石坂浩二さん                                                                                                               |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.6.3  | 福澤諭吉展 1万人突破／入場者の西山さんに記念品／福岡市美術館                                                                                                              |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.6.10 | 風車／仰ぎ見る福澤諭吉／(中洲次郎)                                                                                                                           |
| 慶応義塾福澤研究センター通信 |          | 「福澤諭吉展」福岡／「未来をひらく 福澤諭吉展」福岡での試み／岩永悦子(福岡市美術館 学芸員)                                                                                              |

#### コレクション／コネクションー福岡市美術館の30年

|                |          |                                                                |
|----------------|----------|----------------------------------------------------------------|
| 西日本新聞(夕刊)      | H21.7.23 | 福岡市美術館の30年 コレクション／コネクション展／来月8日から、福岡市美術館／代表的所蔵品400点を一堂に         |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.8.6  | 本社の事業／仁清、ダリ、ミロ、大観、繁二郎など 代表的400点／8日から30周年記念展                    |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.8.9  | 福岡市美術館30年記念展                                                   |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.8.20 | 美術を広げる深める 福岡市美術館30周年 上／テーマ別に魅力再発見／(福岡市美術館学芸員・正路佐知子)            |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.8.21 | 美術を広げる深める 福岡市美術館30周年 中／館内外で「非日常」表現／(福岡市美術館学芸員・山口洋三)            |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.8.22 | 美術を広げる深める 福岡市美術館30周年 下／子や親の居場所を創造／(福岡市美術館学芸員・岩永悦子)             |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.8.23 | それゆけ！バン人間／天神で芸術家ら行進                                            |
| 長崎新聞           | H21.8.29 | 見てきました／(ふ)                                                     |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.9.2  | 前衛作品と古美術「同居」 中学生の視点で作品選択／『お宝』展示に工夫随所／福岡市美術館30年記念展／(都市圏総局・松尾孝司) |
| 毎日新聞(朝刊)       | H21.9.7  | 福岡市美30周年館蔵品展／型破りな発想／組み合わせの妙／(渡辺亮一)                             |
| 西日本新聞(朝刊)      | H21.9.10 | 文化／展覧会 コレクション／コネクションー福岡市美術館の30年／「美術のるつぼ」で再発見／(藤原賢吾)            |
| 西日本新聞(夕刊)      | H21.9.12 | 彩事館／西日本新聞社の事業／多様な400点を展示／「コレクション／コネクションー福岡市美術館の30年」            |
| 朝日新聞(夕刊)       | H21.9.18 | 厳選400点古今作品そろ／福岡市美術館の30年展                                       |
| ぐらんざ9月号 No.118 |          | ART／福岡市美術館開館30周年記念企画／ありものの収蔵品を世に問う／廣嶋靖邦＝選・文                    |

|                                 |                                                         |
|---------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 新美術新聞 No.1191 (2009年8月1・11日合併号) | 北から南 museum36／ひろがるコレクション、ふかまるコレクション／福岡市美術館              |
| シティ情報ふくおか No.692                | 今月のエンターテインメント Art／コレクション／コネクションー福岡市美術館の30年ー／福岡市美術館30年目の |
| (2009年8月28日発行)                  | 集大成／古美術から近現代美術まで秘蔵作品を大公開!!                              |

## 生誕130年記念 富田溪仙展

|                   |           |                                                                                                                                 |
|-------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 朝日新聞(夕刊)          | H21.9.9   | be evening／水曜アート／「神庫」富田溪仙／なぜバリの美術館に?／美の履歴書123／(田中三蔵)                                                                            |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.9.27  | 新・何しよう 福博であい談／鉄斎との遭遇 溪仙新機軸／(都市圏総局・川上弘文)                                                                                         |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.10.10 | 生誕130年 富田溪仙展／きょうから福岡市美術館                                                                                                        |
| 西日本新聞(夕刊)         | H21.10.10 | 博多が生んだ日本画の奇才／生誕130年 富田溪仙／11月23日まで福岡市美術館                                                                                         |
| 朝日新聞(夕刊)          | H21.10.14 | カルチャー福岡 富田溪仙展                                                                                                                   |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.10.14 | 日本画の奇才 富田溪仙展より 上／躍動感、色彩美あふれ／麒麟(きりん)・鳳凰(ほうおう) 櫛田神社蔵(1924年)／(福岡市美術館 学芸員 山本香瑞子)                                                    |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.10.15 | 富田溪仙展 講演など開催／福岡市美術館                                                                                                             |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.10.15 | 日本画の奇才 富田溪仙展より 中／神秘的でユーモラス／神庫(じんこ) ボンビドー・センター蔵(1926年)／(福岡市美術館 学芸員 山本香瑞子)                                                        |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.10.16 | 日本画の奇才 富田溪仙展より 下／溪仙花鳥画の集大成／万葉春秋 京都国立近代美術館蔵(1936年)／(福岡市美術館 学芸員 山本香瑞子)                                                            |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.10.19 | 花時計／(松尾)                                                                                                                        |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.10.21 | 春秋                                                                                                                              |
| 西日本新聞(夕刊)         | H21.10.29 | ここ行こう／PICK UP／日本画家 富田溪仙展／来月23日まで、福岡市美術館／自由な筆遣いと鮮麗な色彩                                                                            |
| 毎日新聞(朝刊)          | H21.11.2  | 富田溪仙生誕130年回顧展／青が創出するリリズム／(渡辺亮一)                                                                                                 |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.11.4  | 福岡ワイド／ミュージアムめぐり68 学芸員のいちおし／福岡市美術館／雲ヶ畑の鹿／躍動の鹿に命のリズム／(山本香瑞子・福岡市美術館学芸員)                                                            |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.11.5  | 文化／「魂のうろおい」ー富田溪仙と詩人大使クロードル 芳賀 徹／生きる喜び、よみがえらせ／(はが・とおるー比較文学者、岡崎市美術博物館館長)                                                          |
| 西日本新聞(朝刊)         | H21.11.24 | 富田溪仙展が閉幕                                                                                                                        |
| 福岡モン11月号vol.25    |           | EVENT&ART／博多が生んだ日本画の奇才 富田溪仙の代表作約120点が福岡市美術館に集結!／郷土を代表する日本画の奇才、富田溪仙 福岡では32年ぶりとなる美術展を開催／福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念 生誕130年記念 富田溪仙展 |
| 北九州おい街11月号Vol.381 |           | EVENT&ART／博多が生んだ日本画の奇才 富田溪仙の代表作約120点が福岡市美術館に集結!／郷土を代表する日本画の奇才、富田溪仙 福岡では32年ぶりとなる美術展を開催／福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念 生誕130年記念 富田溪仙展 |
| 月刊くるめ11月号Vol.371  |           | EVENT&ART／博多が生んだ日本画の奇才 富田溪仙の代表作約120点が福岡市美術館に集結!／郷土を代表する日本画の奇才、富田溪仙 福岡では32年ぶりとなる美術展を開催／福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念 生誕130年記念 富田溪仙展 |
| 博多のうわさ11月号        |           | お客様横丁／福岡市美術館開館30周年・福岡市制施行120周年記念 生誕130年記念 富田溪仙展                                                                                 |
| 九州王国11月号No.27     |           | 画家の見た風景[二十七]／「神庫」1926年／富田溪仙(1879-1936)／博多っ子作品 バリより凱旋す／島尾ナツヲ・文                                                                   |

## トリノ・エジプト展

|          |           |                                                                       |
|----------|-----------|-----------------------------------------------------------------------|
| 朝日新聞(朝刊) | H21.12.28 | トリノ・エジプト展 1月5日から福岡市美術館／ツタンカーメンが来た／19世紀、サボイア家が収集／所蔵品3万点超／歴史から消し去られた少年王 |
| 朝日新聞(朝刊) | H22.1.1   | トリノ・エジプト展 5日開幕へ彫像開封／福岡市美術館                                            |
| 朝日新聞(朝刊) | H22.1.4   | 「エジプト展」あす開幕／ツタンカーメン王像／トリノ博物館初出品                                       |
| 朝日新聞(朝刊) | H22.1.4   | 古代の秘宝ずらり／トリノ・エジプト展／ツタンカーメン像、来日                                        |
| 朝日新聞(夕刊) | H22.1.5   | トリノ・エジプト展開幕                                                           |
| 朝日新聞(朝刊) | H22.1.6   | 時を超えて「対面」／古代エジプトに感動／福岡市美術館で開幕                                         |
| 朝日新聞(朝刊) | H22.1.15  | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／秘蔵の美術コレクション、ルーブルに匹敵                            |
| 朝日新聞(朝刊) | H22.1.17  | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／彫像ギャラリー、ハリウッドとコラボ                              |



|           |          |                                                      |
|-----------|----------|------------------------------------------------------|
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.18 | 展示品の魅力・歴史／早大教授が記念講演／トリノ・エジプト展                        |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.19 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／少年王ツタンカーメンの数少ない彫像             |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.20 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／ミイラ埋葬、死後の再生・復活のため             |
| 西日本新聞(朝刊) | H22.1.20 | 古代エジプト体感／福岡市美術館で「トリノ・エジプト展」／彩色木棺、ミイラなど展示             |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.22 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／3重になった美しい人型の彩色木棺              |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.23 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／死後に掘り返され再利用された女性の棺            |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.24 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／死後の世界の王、オシリス神                 |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.26 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／冥界への案内書「死者の書」                 |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.27 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／生前の暮らしを語るピンセット                |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.29 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／「召使」を納めたシャブティ・ボックス            |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.1.30 | トリノ・エジプト展 福岡市美術館3月7日まで／死後の世界へ死者を運ぶ葬送用の船              |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.2.10 | トリノ・エジプト展 入場3万人                                      |
| 西日本新聞(夕刊) | H22.2.18 | イタリアが愛した美の遺産／「トリノ・エジプト展」／来月7日まで福岡市美術館／ナポレオン遠征時の収集品中心 |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.2.27 | トリノ・エジプト展／入場者が5万人突破                                  |

## 第44回福岡市美術展

|           |          |                                    |
|-----------|----------|------------------------------------|
| 毎日新聞(朝刊)  | H22.2.27 | 福岡市美展／入賞・入選者決まる／7部門に1448点応募／(鈴木美穂) |
| 西日本新聞(朝刊) | H22.2.27 | 福岡市美術展／最高賞に前隈さん                    |
| 西日本新聞(朝刊) | H22.3.1  | 福岡市美術展入賞者                          |
| 西日本新聞(朝刊) | H22.3.2  | 福岡市美術展入選者 上                        |
| 西日本新聞(朝刊) | H22.3.3  | 福岡市美術展入選者 下                        |
| 読売新聞(朝刊)  | H22.3.12 | 特別賞に前隈さん(洋画)／福岡市美術展／入賞・入選717点決まる   |
| 朝日新聞(朝刊)  | H22.3.24 | 福岡市美展 前隈さん特別賞                      |

## ■常設展

### 新収蔵作品展

|          |          |                          |
|----------|----------|--------------------------|
| 読売新聞(朝刊) | H21.4.23 | 個人寄贈の収蔵品紹介 福岡市美術館／(梅野健吾) |
|----------|----------|--------------------------|

### 超・夏休みこども美術館2009

|           |          |                                                                 |
|-----------|----------|-----------------------------------------------------------------|
| 西日本新聞(朝刊) | H21.8.15 | ミュージアムめぐり60 学芸員のいちおし／福岡市美術館／夏休みこども美術館／目で味わう食の世界／(鷲頭桂・福岡市美術館学芸員) |
| 毎日新聞(朝刊)  | H21.8.16 | 美術館探索楽しむ／福岡市で親子連れら／(丸山宗一郎)                                      |
| 朝日新聞(朝刊)  | H21.8.30 | こんなアイス 食べてみたい／福岡市美術館 食をテーマに展覧会                                  |

## ■常設企画展

### 中国陶磁の5000年 森田コレクション

|                  |          |                                                                          |
|------------------|----------|--------------------------------------------------------------------------|
| 西日本新聞(朝刊)        | H22.1.26 | ミュージアムめぐり78 学芸員のいちおし／福岡市美術館／森田コレクション／中国陶磁の5000年網羅／(後藤恒・福岡市美術館学芸員)        |
| 西日本新聞(朝刊)        | H22.3.6  | 森田コレクション初公開／福岡市美術館／久留米出身の森田さん／古美術学びこつこつ収集／「故郷への恩返し」と寄贈／(松尾孝司)            |
| 北九州おい街2月号 No.384 |          | EVENT&ART PRESS／福岡市美術館の収蔵品に新たに加わった森田コレクション。全点を一挙初公開！／中国陶磁の5000年 森田コレクション |

## こどもアートアドベンチャー

こどもたちと美術のより良い出会いの場を提供する事を目的に、平成9年度より展開している市内小・中学校を主な対象とした教育普及活動。学校と連携し、児童・生徒が美術館を利用できる機会を増やすとともに、こどもたちがより美術に興味を持ち、深く理解できるよう、ボランティアのギャラリートークをはじめ、小・中学校の教員とともにワークショップなどを行っている。

### 市内の小・中学校等に対するギャラリートัวร์（スクールツアー・プログラム）

学校団体への常設展示鑑賞のサポートとして、教師との事前打ち合わせなどをもとに、ギャラリーガイドボランティアによるギャラリートークを行っている。平成21年度の学校利用は以下の通り。

#### スクールツアー・プログラムの利用学校

##### 平成21年

|                          |        |       |
|--------------------------|--------|-------|
| 4月 7日(火) 福岡インターナショナルスクール | 児童27人  | 引率3人  |
|                          | 保護者7人  |       |
| 5月14日(木) 当仁小学校5年生        | 児童95人  | 引率4人  |
| 6月 5日(金) 沓岐丘中学校2年生(*)    | 生徒73人  | 引率5人  |
| 6月11日(木) 青葉中学校2年生(*)     | 生徒127人 | 引率5人  |
| 6月12日(金) 姪浜中学校1年生(*)     | 生徒333人 | 引率16人 |
| 6月25日(木) 友泉中学校(*)        | 生徒305人 | 引率9人  |
| 7月 2日(木) 当仁小学校4年生        | 児童105人 | 引率3人  |
| 9月 8日(火) 福岡雙葉小学校付属幼稚園    | 園児81人  | 引率3人  |
| 9月 9日(水) 香椎第一中学校2年生(*)   | 生徒197人 | 引率15人 |
| 9月10日(木) 東住吉中学校1年生       | 生徒74人  | 引率6人  |
| 10月21日(水) 草ヶ江小学校2年生      | 児童70人  | 引率3人  |
| 10月22日(木) 笹丘小学校3年生       | 児童82人  | 引率4人  |
| 10月23日(金) 前原小学校5年生       | 児童115人 | 引率4人  |
| 10月27日(火) 長丘小学校6年生       | 児童152人 | 引率5人  |
| 10月27日(火) 愛宕浜小学校6年生      | 児童96人  | 引率4人  |
| 10月30日(金) 別府小学校5年生       | 児童146人 | 引率4人  |
| 11月25日(水) 簗子小学校5年生       | 児童22人  | 引率1人  |
| 11月25日(水) 内浜中学校2年生       | 生徒240人 | 引率10人 |
| 11月26日(木) 金山小学校5年生       | 児童54人  | 引率2人  |
| 12月 9日(水) 玄洋小学校5年生(*)    | 児童116人 | 引率5人  |
| 12月11日(金) 城原小学校5年生       | 児童87人  | 引率4人  |

##### 平成22年

|       |              |        |      |
|-------|--------------|--------|------|
| 1月14日 | 周船寺小学校5年生    | 児童63人  | 引率2人 |
| 1月15日 | 周船寺小学校5年生    | 児童64人  | 引率2人 |
| 1月15日 | 那珂南小学校5年生    | 児童84人  | 引率3人 |
| 1月20日 | 城南中学校2年生(*)  | 生徒240人 | 引率7人 |
| 1月21日 | 東花畑小学校5年生    | 児童69人  | 引率2人 |
| 1月22日 | 野多目小学校5年生    | 児童117人 | 引率3人 |
| 1月26日 | 長住小学校5年生     | 児童101人 | 引率4人 |
| 1月27日 | 七隈小学校5年生     | 児童82人  | 引率4人 |
| 2月 2日 | 原北小学校5年生     | 児童113人 | 引率3人 |
| 2月 4日 | 横手中学校        | 生徒8人   | 引率3人 |
| 2月 5日 | 城香中学校1年生(*)  | 生徒95人  | 引率7人 |
| 2月 9日 | 柏原小学校5年生     | 児童98人  | 引率3人 |
| 2月10日 | 愛宕浜小学校5年生    | 児童93人  | 引率3人 |
| 2月12日 | 松崎中学校1年生(*)  | 生徒143人 | 引率7人 |
| 2月17日 | 屋形原特別支援学校    | 生徒9人   | 引率9人 |
| 2月23日 | 東箱崎小学校5年生    | 生徒70人  | 引率3人 |
| 2月23日 | 元岡小学校5年生     | 児童110人 | 引率6人 |
| 2月24日 | 沓岐南小学校5年生    | 児童79人  | 引率2人 |
| 2月25日 | 香住ヶ丘小学校5年生   | 児童139人 | 引率5人 |
| 3月 2日 | 有田小学校5年生     | 児童91人  | 引率4人 |
| 3月 3日 | 平尾小学校5年生     | 児童170人 | 引率5人 |
| 3月 4日 | 姪北小学校5年生     | 児童106人 | 引率4人 |
| 3月 4日 | 粕屋中央小学校6年生   | 児童97人  | 引率4人 |
| 3月 9日 | 筑紫丘中学校2年生(*) | 児童169人 | 引率5人 |

(\*)は「施設等を利用した体験学習」による来館団体

### 中学校交流ワークショップ2009「ジュニアキュレーター見参！」

#### ■企画・準備

日 程：平成21年6月20日(土)、27日(土)、7月4日(土)、11日(土)、18日(土)、22日(水)、23日(木)、24日(金)、8月6日(木)、7日(金)、8日(土)の計11回

場 所：講堂、教養講座室、実技講座室、常設展示室

参 加 者：青葉中学校、内浜中学校、香椎第一中学校、警固中学校、筑紫丘中学校、箱崎清松中学校、原中学校、東住吉中学校、舞鶴中学校、和白丘中学校(50音順・全て福岡市立)の生徒115人